



# 加藤内科 広報新聞 1月号



暖冬とはいえ、寒さが身にしみる今日この頃、いかがおすごでしょうか？  
当院は、本年もかかりつけ医として努力してまいりますので、宜しくお願い致します。


**「ゾフルーザ」という新しいインフルエンザ治療薬はご存知ですか？  
これまでの治療薬とは全く異なる働き方でインフルエンザウイルスを抑える、新しいお薬です。**



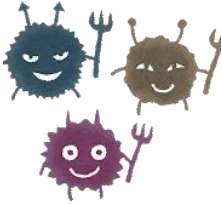
インフルエンザウイルスは鼻や喉の粘膜の細胞に入り込み感染し、その細胞の中で増殖します。

増殖したウイルスは、その細胞の中から外に出て、周りの細胞に広がりどんどん増殖し、発熱や喉の痛みなどの症状が現れます。

これまでのインフルエンザ治療薬は、細胞内で増殖したウイルスが細胞から外から出るのを抑えて、感染拡大を防ぐ効果のある薬でしたが、『ゾフルーザ』は感染した細胞内でのウイルスの増殖を抑える効果があります。

**インフルエンザの治療で使うお薬は新薬のゾフルーザを含めて5種類あります。**

商品名	投与方法	用法	
<b>タミフル</b>  カプセルとドライシロップがあります。  <b>予防投与 可</b>	<b>経口</b>  	<b>1日2回 5日間投与</b>  成人と体重37.5kg以上の小児には、タミフルカプセル75mgを1回2回、5日間経口。新生児・乳児・幼小児には、ドライシロップの投与が可能。	<b>メリット</b> ・処方歴が長く、副作用報告など情報が豊富 ・薬価が安い。カプセルのジェネリックも販売されている。 ・幅広い年齢に使用が可能。 <b>デメリット</b> ・1日2回 5日間の服用なので、飲み忘れなどに注意が必要。
<b>リレンザ</b>  自宅で専用の容器を使って、パウダー状の薬を口から吸入する薬。  <b>予防投与 可</b>	<b>吸入</b>	<b>1日2回 5日間吸入</b>  成人及び、小児に使用が可能。	<b>メリット</b> ・粉薬が苦手な小児に使用することができる。 <b>デメリット</b> ・専用の吸入器の使い方に慣れるまで時間がかかる。 ・5日間の吸入が必要。
<b>イナビル</b>  容器に入っているパウダー状のお薬を口から吸入する薬。  <b>予防投与 可</b>	<b>吸入</b>	<b>単回吸入</b>  成人及び10歳以上の小児に2容器40mgを吸入、10歳未満の小児は1容器20mgを吸入。	<b>メリット</b> ・1回の吸入で治療が終了する。 <b>デメリット</b> ・吸う力が弱い方は、使用できない場合がある。 ※当院ではイナビルが処方されると、吸い残しがない様に、その場でスタッフと一緒に吸入して頂いております。

商品名	投与方法	用法	
<b>ラクアピタ</b>  点滴により、静脈から全身に投与する。 <b>予防投与 不可</b>	点滴	<b>単回点滴</b>  	<b>メリット</b> ・薬の服用ができない方や、吸入ができない方でも、確実に吸入ができる。 <b>デメリット</b> ・点滴に時間がかかるので、診療所で取り扱っていない場合がある。
<b>ゾフルーザ</b>   新しいお薬 <b>予防投与 不可</b>	経口	<b>単回投与</b> 成人及び12歳以上の小児には40mg(ただし80kg以上の方は80mgを単回投与) 体重40kg以上 →40mgを単回投与 体重20kg 以上40kg未満 →20mgを単回投与 体重10kg以上20kg未満 →10mgを単回投与	<b>メリット</b> ・1回の服用で治療が終了する。 <b>デメリット</b> ・新しいなので、副作用報告などの情報が少ない。 ・インフルエンザ内服薬、吸入薬の中で一番薬価が高い。  

※インフルエンザ治療薬の予防投与を希望される方は、スタッフにお問い合わせ下さい。(保険適応外となります)

### それぞれの薬の効果は、インフルエンザ症状が出始めてからの時間や、病状によって異なります。

インフルエンザ症状が出始めて48時間以内に、インフルエンザ治療薬の服用を開始すると、通常より発熱期間を1～2日短縮し、ウイルスの排出量を減らすことができますが、発症してから48時間以降に服用を開始した場合ですと、十分な効果が期待できません。

当院では、タミフルドライシロップ、イナビル、ゾフルーザを院内で処方する事ができますので、お薬のご要望がありましたらご相談下さい。

### 今年はインフルエンザ A 型が大流行しています。

インフルエンザにかかったかな・・・と思ったら、受診をお願い致します。

受診する事を前もって連絡して頂くと、現在の混み具合や診察までの時間をお伝えする事ができます。

一般的には、インフルエンザ発症前から発症後3～7日間は喉や鼻からウイルスが排出されているといわれています。万が一、インフルエンザにかかった場合は、他人に、うつさない為にも外出を控え、マスクの着用をお願い致します。

春頃までインフルエンザの流行が続くと予想されます。

日常からバランスのとれた食事と適度な運動で体調を整え、

手洗い・うがい・マスクの着用などでインフルエンザ感染を予防していきましょう。

